



後期人権教育旬間 校長講話・人権集会(11/17)より

今年度の学校生活も8ヶ月が過ぎようとしています。先日の音楽会では、どの学級もどの学年も本当に素晴らしい合唱でした。本当に感動しました。北部中学校のよさ、皆さんの素晴らしさを改めて感じることができました。ありがとうございました。

今日の校長講話では、5月に続いて「人権」について、皆さんと一緒に考えたいと思います。まず人権とは、「すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利で、生まれながらに持つ権利」です。これまでの学校生活を見ていると、北部中学校の皆さんは、正しい人権感覚を持っており、いじめは絶対ダメだと分かっています。それでも、トラブルが起きてしまうことがあります。なぜでしょうか。

例1 次のSNS上のやりとりを見てください。このやりとり、どう思いますか？「別に問題はないと思う人？」「ちょっと問題だなと思う人？」

～近所(北中 Meet)で話をする～

C子さんのことばを皆さんはどう受け取りましたか？B子さんに対して「えー来るの？あなたは来るな」という意味で捉えた人もいたのではないのでしょうか。実はC子さん、「どうする方法で来るの？自転車？バス？」という交通手段を確認するつもりだったようです。このように同じ言葉でも人によって受け取り方が違う場合があるので、自分が伝えたいこととは違う意味で受け取られてしまうこともあります。

例2 次の5つの中から、友だちに言われて「うれしい」と感じることばを1つ、「イヤだな」と感じることばを1つ選んでみましょう。

～手を挙げてもらってから北中 Meet～



やはり、人によって違います。どの言葉も悪いことばではないと思うので、ほめたつもりで使ったことばが、相手にとってはイヤなことばになっていることもあるかもしれません。さらに、このように文字だけだと、そのときの感情や状況が伝わらないので、相手に誤解されることがあります。文字では表情や口調などが伝わらないので、どのような意味で受け止めるかは相手次第です。そこで、文字だけでなくスタンプも使いますね。

例3 友だちからスタンプ付きのメッセージが届きました。

友だちは、どのような気持ちで送ったのでしょうか？

一番おもしろい気持ちを表していると思うものはどれですか
送られてきて、ちょっとイヤだなと感じるものはどれですか

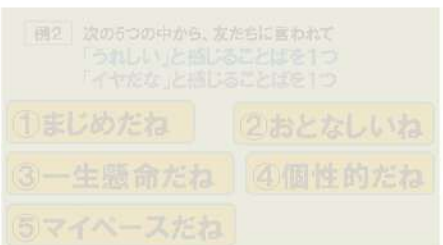
～手を挙げてから北中 Meet～

イラストのとらえ方、受け取り方も人それぞれです。相手との関係性も影響するかもしれません。やはり相手次第です。

この3つの例を通して学んでほしいことは、文字やイラストでは気持ちが伝わっていないかもしれない。誤解される可能性があるということを知っているということが大切です。

このように SNS 上のことばは、誤解を生む原因になりやすいので、できれば対面でのコミュニケーションの方が良いと思います。ただ、対面でも、ことばの使い方に気をつけなければトラブルの原因になります。そんな大切なことばについての本を紹介します。

～おーなり由子(ゆうこ)さんの「ことばのかたち」という絵本を読む～



さて、皆さんはどのような感想を持ちましたか。この話の中で一番印象に残った部分はどこですか。普段、皆さんが使っている「ことば」は、どんな形や色をしているのでしょうか。実際には見えないからこそ、どのように受けとられるのか、相手のことを考えて、ことばを選んでいく必要があると思います。今の北中では、相手を傷つけようと悪意のあることばを使う人はほとんどいないと思いますが、ことばをはじめ、コミュニケーションのズレから始まるトラブルが多くなっているように思います。自分はこういうつもりで言ったが、相手は違う受け取り方をした。自分はいじりのつもりだったが、相手はいじめと感じた。ズレが大きくなっていくと、お互いが傷ついてしまうような大きなトラブルになってしまうことがあります。

コミュニケーションはキャッチボールです。お互いに相手の気持ちになってことばを発することと、受け取る側も相手の気持ちに寄り添って誤解が生まれないように受け止めようとする 것도大切かもしれません。お互いが心がけることで、誰もが安心できる環境となり、認め合い、支え合い、高め合う学校になっていきます。

校長講話のあと、人権集会として係の先生より「人権について学ぶこと＝人権感覚を磨くこと」で、「人として正しい行為・正しくない行為が感覚的に分かるようになること」が大切という話と、宮澤章二さんの「行為の意味」の詩の紹介がありました。



「行為の意味」 宮澤 章二

あなたの心はどんな形ですかと
人に聞かれても答えようがない
自分にも 他人にも心は見えない
けれど ほんとうに見えないものであろうか

誰かに心はだれにも見えないけれど
心づかいは見えるのだ
それは 人に対する精神的な行為だから

同じように胸の中の思いは見えないけれど
思いやりは見えるのだ
それは 人に対する精神的な行為なのだから

あなたに 心が あなたに 行為になる
やさしい思いや やさしい行為になると
心も思いも 花めて美しく生きる
それは 人々として生きることだ

生徒の皆さんの感想より(一部抜粋)

- 文面でやり取りをするときは、伝え方に気をつけたいと思ったし、対面で話すときも、自分が気付かないところで人を傷つけることのないように考えて話したいと思った。
- 言うてはいけないことばだけじゃなくて、言い方にも気を付けていかなきゃいけないと思いました。SNS 上での言葉の使い方には特に気を付けていきたいと思いました。
- 絵本にあった、言葉が釘の形になって体に刺さっていった刺された人のから血が出ている描写が印象的でした。この描写では物理的に、そしてわかりやすいように血で表現されているけれど、現実で考えれば涙が血のようなものだと思います。心の傷は体の傷のように、傷ついたこと、傷んでいることが分かりづらくて、治るのに長い時間を要するのだと学ぶことができました。言葉を選ぶことって、本当に本当に大変だと改めて思いました。
- まだ SNS はやっていないけど、始めるときは、言われたことを思い出してからはじめたい。
- 文字だけだと伝わらないこともあるし、スタンプでも、ものによっては人を傷つけてしまうこともある。これからはメッセージを送る前に、相手が傷つかないか一度読み返すことにする。
- おもいは伝わらなくてもおもいやりは伝わるというのが、すごく心にささった。相手の考えていることはわからなくても、行動に対して、どういう意思でやったのかわかるのは、すごくうれしい。
- 自分はいつも動こうと考えるのですが、実際に行動できたのは、あまりありません。思っている行動に移さないと「思いやり」や「心づかい」は伝わらないと思うことができ、行動に移したいと思うことができました。
- 本にあった言葉のトゲの部分が残っていて、どんなに小さなトゲだったとしても、相手を傷つけてしまったことに変わりないから、一度発言する前に立ち止まって、今、口から発しようとした言葉がどういうものなのか考えることは大切だなと感じた。
- 自分にとっては、悪気がなくても相手を傷つけてしまうことがあるから、気をつけたいと思った。言われた相手の気持ちを想像して話すように心がけたい。DM や LINE とかじゃなくて、大切な話は直接話そうと思った。
- 自分も B 子さんのような経験をしたことがあるので、B 子さんになった気持ちでいるとよく分かります。人はいろいろな意味で気付かない時もあるので、その時はまわりでサポートしてあげられたらいいなと思います。
- どれがいやな気持ちになる？うれしい気持ちになる？と聞かれたときに、みんな、いろんなのに手を挙げていて、人によって感じることは違うんだなと思いました。言う側も受け取る側も相手の気持ちによりそうすることが大切だなと思いました。
- 自分ではイジリだと思っていても、相手はイジメだと受け取ってしまうかもしれないというところに心当たりがあった。たとえイジリであっても、言葉づかいを考え、人を下げるようなことを言わないようにしたい。自分の言葉を形で想像してみて、相手が傷つくようなことは言わないようにしたいと思った。
- 「いやな言葉が目に見えたらどうなるだろう」という所の表現の仕方がとてもリアルで人権についてめちゃくちゃ考えさせられる場になった。これからは気を付けて発言していきたい。
- 言葉が目に見えたらなんて考えたこともなかった。目に見えていたら汚い言葉を使う人が減ると思った。目に見えていなくても、常に自分が発する言葉を意識して生活していきたい。
- 言葉が形になって目に見えるようになれば、悪口とかは減りそうだなと思った。相手が傷ついているのが見えないと思ったことをすぐ口にしてしまうことが多いけど、形として見えなくても、言葉を発する前に相手の気持ちを考えられるようになりたい。
- LINE とかだと伝わらずに誤解を招くことになってしまうから難しいなと思いました。だから日常会話だけでなく、LINE とか顔の見えない時にも、相手にどのように感じ取られるかを考えて話すようにしたいです。心の中で、言葉の色や形を想像できたら人を傷つけてしまうことも減るのかなと思ったから、温かい色や形で話せるように意識したいです。

